

2006年度

第2回



採点規準 共通項目

(京大模試 物理)

- 誤字、脱字は - 1 点
- 数学的に同等な解答であれば基本的に可
- さらに約分や、平方できるものは、基本的に注意だけで減点なし
(減点する場合は、個別に指示します。)
- 複数の解答が存在するものは、基本的に可
(個別に指示します。)
- V や v 、C や c など、大文字、小文字の区別は基本的には注意のみで減点なし
ただし、大文字小文字の両方を使う解答の場合は減点
(減点の場合は個別に指示します)

2006年度 第2回 京大本番レベル模試 物 理

物理問題 I

採点欄

(1)

ア $\left. \begin{matrix} \text{3点} \\ \text{3点} \end{matrix} \right\} \textcircled{3}$ イ $\frac{F}{2M}t^2$

ウ $\sqrt{\frac{2ML}{F}}$ エ $\frac{F}{M+m}$

オ $M(M+m)g$ カ $\frac{1}{2}m'gt^2$ ←

← Mとmといるときの速度のみで可とする。

キ $\frac{F-m'mg}{2M}t^2$ ク $\sqrt{\frac{2ML}{F-m'(M+m)g}}$

ケ $-\frac{\sqrt{2\{F-m'(M+m)g\}}L}{M}$ コ $\sqrt{2g\ell(1-\cos\theta)}$

サ $2\sqrt{\frac{1-\cos\theta'}{1-\cos\theta}}$ シ $\textcircled{3}$

ス $\frac{M}{m'(M+m)g}$ セ $\frac{m'(M+m)g}{2M}$

ソ $\frac{m'(M+m)L}{M\ell}$

m'がMと成っているときの各L点の減点。

氏 名	校 舎 名	受 験 番 号							
在 卒 高 校	クラス名	出席番号	採点者印		確認者印				

2006年度 第2回 京大本番レベル模試 **物 理**

物理問題 II

採点欄

A

イ
1点

$$\frac{qBv_z}{2}$$

ロ
1点

$$-qBv_y$$

ハ
2点

$$\frac{\pi m}{qB}$$

$$= (0, 2\frac{mv_0}{qB}, 0)$$

ホ

$$\frac{2m\phi}{qB}$$

$$\wedge (0, \frac{2mv_0 \sin\phi}{qB}, 0)$$

B

ト

$$\frac{2\pi m}{qB}$$

$$\neq (\frac{2\pi m}{qB} v_0 \cos\theta, 0, 0)$$

リ

$$\frac{mv_0 \sin\theta}{qB} \sin\left(\frac{qB}{mv_0 \cos\theta} z\right)$$

$$\times \frac{md_1 v_0 \cos\theta}{qV}$$

C

ル

$$\frac{md_1 v_0^2 \cos^2\theta}{2qV}$$

ヲ

$$(2 + \frac{dz}{d_1}) T_1$$

(1 + dz/d_1) T_1 の形, aの. 1点減点. T_1, E T_1 と aの. 1点減点.

ワ

$$-\frac{dz}{d_1} X_1$$

X_1, E X と aの. 1点減点. カ

エ

$$\frac{\pi V}{d_1 v_0 \cos\theta}$$

D

ヨ

$$qBv_z$$

ク

$$qE - qBv_y$$

コ

$$\frac{2\pi m}{qB}$$

シ

$$(0, \frac{2\pi m E}{qB^2}, 0)$$

